

議会改革特別委員会 会議録

開催年月日	令和3年1月26日(火)	場所	議会委員会室
案件	議会改革について		
出席委員	委員7名(水間委員長、石上副委員長、大西委員、佐藤委員、宇治委員、後藤委員、日里委員)		
欠席委員	—	事務局	清水・大津
委員外出席	黒岩議長・今副議長	傍聴者	—
開会時刻	10時01分	実会議時間	0時間22分
		休憩時間	0時間59分
閉会時刻	11時22分	延会議時間	1時間21分
次回日程	未定		
要点記録	<p><概要></p> <p>1. 議会改革について</p> <ul style="list-style-type: none">・議会基本条例第22条に基づく検証について、委員長素案のシートを各会派に持ち帰り議論した結果を報告。全ての会派から肯定的意見を得る。・検証シートについては、各会派からの修正箇所等の指摘は無し。→確認。・よって、検証シートを活用した検証方法とする。→確認。・シートを活用した課題の抽出と対応の検討について、議論が必要との追加意見が出されたが、本委員会が依頼を受けた「検証方法」の範囲を超えるので、議会運営委員会での対応を協議するよう申し送りする。→確認。・会派の分裂に伴い、新しい会派ができた。この状況下での検証は議会基本条例になじむのか疑問との意見もあるが、議会全体としての検証として、このシートの活用方法は、議会運営委員会での議論で決定をするとともに、必要に応じて修正等を行う。→確認・決定。・上記について、議会運営委員会に申し送りを行うこととする。→確認・決定。 <p>・議員定数について、各会派持ち帰りで議論した結果の報告と意見交換を行った。</p> <p>・各会派からの報告は、現状維持か定数減の両論あり。</p> <p>・定数に関しては、市民意見の収集をすべきと意見があり、年齢階層などの偏りが無いように意見聴取を行うことが必要。</p> <p>・議会として、適正な定数の考え方を共有して意見聴取に望むべき。</p> <p>・考え方の要点として、議会がもつチェック機能の維持、議員の成り手不足に対する環境整備、これまでの議会改革の取り組みの可視化が必要。</p> <p>・上記要点を市民に伝え、議員定数に関する理解を得るべき。</p> <p>・これらの内容を再度会派に持ち帰り、会派内での情報共有のうえ、意見交換を願いたい。→了</p> <p>・議員定数に関し、議員相互による自由討議の開催を行うこととする。→確認・決定。</p> <p>・議会改革特別委員会の任期については、6月までとなっているので、最終報告は第2回定例会を予定しているため、それを意識しながら議論を進める。→了。</p> <p>2. その他</p> <ul style="list-style-type: none">・議会広報について、改革の取り組みを一部包含しているため、先の議員定数と合せ、最終報告に入れていく形としたい。→了。		

以上、委員会会議録について富良野市議会委員会条例第27条の規定により、ここに署名する。 委員長 水間 健太